

二見北小学校区「スクールガード通信」

スクールガード二見北小学校区

北は JR 土山駅周辺の市町界、南は JR 山陽新幹線高架付近、東は瀬戸川右岸、西は県道 208 号(二見港土山線)を最大範囲とする本校区の広域にわたり、安全で安心な登下校の実現に向けて、子どもたちが犯罪被害や交通事故に巻き込まれないよう“地域ぐるみの見守り活動”を日々実施いただいておりますこと、厚く御礼申し上げます。

(校長：松崎 幸二)



～PTA とスクールガード (SG) との交流会 (2022.11.16)



<p>自分の健康を維持しようとして始めたが、風邪などひかめ様自らを戒めて立ち番をしている。この 10 年間は風邪をひいたことがない。SG をさせてもらっているおかげだ、お礼を言いたい。</p>  <p style="text-align: right;">(SG：嶋 信次)</p>	<p>H23 年野々池での児童溺死事故から丸 12 年経過、学校では毎年7月に「命の集会」を実施しているが家庭でも同様に教育をお願いしたい。マンネリ化と風化を懸念する。私は身の安全を守るために「止まる」「見る」「待つ」を毎日児童に言っている。</p> <p style="text-align: right;">(SG：伊藤 一頼)</p>	<p>スカイハイツ・サンハイツのところでは、以前に比べて子どもたちがおとなしくていい子になった。車の通行が多いので私は運転手とアイコンタクトし、車が止まってから児童を横断させている。止まらなければ車を先に通している。</p> <p style="text-align: right;">(SG：百崎 久美子)</p>	<p>SG さんから子どもに「傘やランチ袋を振り回したりしたら危ないよ」と教えていただいているありがたい。</p>  <p style="text-align: right;">(PTA：原田 史)</p>
<p>この頃、挨拶してくれる子どもが増えるようになったので嬉しい。</p>  <p style="text-align: right;">(SG：松島 早苗)</p>			<p>朝ちよっとケンカした時など「いつてらっしゃい」を言わずに送り出してしまっていたが、途中 SG さんが「おはよう」と声をかけてくれるたので、子どもは気分を切り替え学校にいつてくれた。本当にありがたい。</p> <p style="text-align: right;">(PTA：山本 由佳)</p>
<p>本年6月頃から始めた新人です。車は(長年今までの SG が立ち番をしているせいか)よく止まってくれる。</p>  <p style="text-align: right;">(SG：高橋 祥之)</p>			<p>スカイハイツでは SG さんがいつも立ってくれていて、子どもに話し掛けてくれる。名前も通学時間帯までもよく覚えてくれていて安心です。私自身役員でありながら月2度程しか立ち番できないが本当に感謝です。</p> <p style="text-align: right;">(PTA：住本 富美子)</p>
<p>SG 始めて半年、「おはよう」の掛け声で「おはよう」を返してくれるので嬉しい。朝ご飯を食べている子は元気だと思う。しっかりとご飯を食べさせて挨拶が出来る子に育てていただきたいし、私たちも地域で子どもたちを見守っていきたい。</p> <p style="text-align: right;">(SG：杉本 孝広)</p>	<p>JR の踏切で立ち番をしている。朝その遮断機が開ると電車が2～3回連続通過するため通行が停滞してしまう。車の通行もかなり増え、子どもたちも縦1列で道幅狭い道路を歩いているので危険です。遮断機の閉止音が鳴り始めると急いで渡る児童がいて危険です。遮断機手前では子どもたちの塊が出来、車も待機すると大変混雑します。こんな時には車を先に通過させるべきか、児童を先に行かせるかすごく悩みます。低学年の児童には走ったらダメよというが、やはり守れない子はいます。あの道(踏切から以北)を時間帯限定で「通行止め」にできないものか検討していただきたい。</p>  <p style="text-align: right;">(SG：藤本 立美)</p>		<p>夏の暑い日にマスク着用でほっぺを真っ赤に、髪の毛が濡れるほど汗をかいて、マスクを外せない子がいた。その子が道でうずくまっていた時に SG さんが「大丈夫？」と声掛けをしてくれてその子を家まで送ってくれた。日頃から子どもを見てくれてるおかげだなあと本当にありがたい。</p> <p style="text-align: right;">(PTA：麻生 直美)</p>

市教委の馬田様・松尾様お二人の出席を要請していただき、且つ感染対策を考慮しながら PTA 役員の皆様と意見交換の場を設定していただきました学校に感謝いたします。子どもたちの命を守ることを軸に率直な意見交換が出来、それぞれの思いを共有できましたことは大変意義深い会合でした。

(SG 代表：永田 聡)

SG さんの思い、保護者の気持ちを直接伝えるとても良い会だったと思います。厳しいご指摘もいただきましたが、見返りを求めず子どもたちのために日々尽力してくださっている SG の皆様には大きな「愛」を感じました。体調には充分気をつけていただきこれからもよろしくお願ひいたします。

(PTA 会長：山本 由香)

＜教育委員会からのお知らせ＞



子どもの安全を守る取り組みについて

明石市では、学校、家庭、地域が連携して子どもの安全を守る取り組みを進めています。

(主な取り組み)

- 1 まち探検の授業等で「こども110番の家」の場所確認等を実施しています。
- 2 教職員を対象とした防犯訓練を市内各小学校・幼稚園・養護学校等で実施しています。
- 3 子どもが「自分の身は自分で守る」自己防衛・防犯意識の向上を目指し、小学校低学年児童・幼稚園児を対象とした防犯教室を実施しております。



保護者のみなさま・地域のみなさまには、子ども自身が「自分の身は自分で守る」意識を高めるため、「身近にあるこども110番の家の確認」や「防犯ブザーの作動点検」など、子どもの安全を守る取り組みについて、引き続きご理解とご協力をお願いします。



ご協力をお願いします



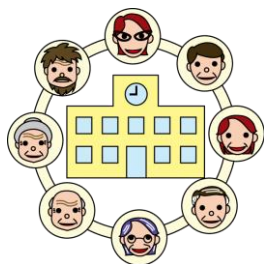
「こども110番の家」は、子どもたちが登下校や帰宅後の外出途上で困ったときに駆け込める場所として設置しており、市内でおおよそ2,300軒の家や事業所に登録していただいています。

教育委員会では、現在、「こども110番の家」の趣旨に賛同し協力していただく方を募集しています。また、破損や色あせしたプレートは、新しいプレートと交換しますので、青少年教育担当、または近くの中学校（地区青少年愛護協議会事務局）までご連絡ください。



「あいさつ」は地域防犯の大きな力です。通学路では、子どもたちとスクールガードが活発にあいさつを交わしています。子どもたちだけでなく保護者や地域のみなさまも「あいさつ」にご協力をお願いします。

また、毎年新学期に『子どもの安全パンフレット』を配付しています。子どもたちと安全について話す機会にご活用ください。



「おれんじキャップ」を着用した人がたくさんいることが、犯罪の大きな抑止力になります。今後とも子どもの見守り活動にご協力くださいますようお願いいたします。

各校区のスクールガードでは、新しい仲間を募っています。

関心をお持ちいただいた方は、お住いの地域の小学校または青少年教育担当まで、気軽にご相談ください。

明石市教育委員会事務局 教育企画室 青少年教育担当 ☎078-918-5057



子どもの安全パンフレット